

定期報告

2011年5月7日

天候;くもりのち晴れ

温度;18°C

湿度;50%

風;東からの少し強めの風

食事 朝;トースト、コンソメ野菜スープ西村風、りんご、オレンジ

昼;工藤シェフ特製野菜たっぷり塩ラーメン

夜;龍の館

氏名;原田生知(薬剤師)

体調;良好

行動日誌

5時50分 起床

6時50分 朝食。工藤課長によるベーコン野菜スープとパンを大城チームとともに美味しく頂く。

7時50分 早朝ミーティング。本日の業務確認、原田、西村は調剤及び引き継ぎ準備。工藤課長は撤収準備と昼食準備。

8時45分 診療所カンファレンス。工藤課長より大槌町内医療機関再開の状況報告。

9時00分 午前診察開始。以前よりの懸案だった医薬品保管状況について大城医師へ保管室の常時施錠を提案。了承され、即実行。また向精神薬は薬局内で全量保管することとした。

9時30分から10時30分まで弘前へ桜祭りの招待を受けたという患者さんと話に花が咲く。被災してつらい状況の中、地元弘前を誉めてもらいうれしさもひとしおである。

長話終了と同時に保健師より避難所内の足の不自由な方から薬の相談がありと応援要請があり、避難所に伺う。片足切断した男性独居老人で不眠、夜間頻尿の訴え。夜間頻尿のため水分摂取を控えていることも判明し、アドバイスするとともに、大城医師に相談。大城医師に往診して頂く。

11時30分 午前診療終了。本日はめずらしく、定時終了だった。診察終了後青森チーム、長野チーム和気あいあいと写真撮影会。別れを惜しむ。

12時00分 工藤課長による野菜たっぷり塩ラーメンを大城チームとともに美味しく頂く。しばし歓談。チーム解散を惜しむ。

12時40分 十和田中央病院チーム到着。西村薬剤師に引き継ぎをお願いする。

13時30分 引き継ぎ終了。大城医師、長野チーム全員と熱い握手を交わしチーム解散。西村薬剤師、工藤課長本当にお疲れ様でした。おかげさまで全員無事にミッションを終了することが出来ました。

氏名;西村宜朗(薬剤師)

体調;良好

行動日誌

6時起床。7時前には大城チームとともに朝食。大槌町の現状などをふまえて意見交換。7時50分よりミーティングと近隣の散策。少しずつではあるが毎日瓦礫が片付いている。復興が遅れているとの報道もあるが、信じられないくらい大量の瓦礫を自衛隊は駐屯しながら、確実に片づけている。

8時45分より診療所での朝のミーティング。昨日の対策本部での連絡事項と本日から変わるチームへの引き継ぎ事項の確認。昨日参加の長野チームより、巡回バスの提案が対策本部でなされたようだが、実現の可能性は薄いらしい。救護所でも、再開しつつある地元診療所への次回からの受診を勧めるのだが、そこまで通う交通手段がないことが問題になりそうだ。

午前は薬局業務と引き継ぎ事項の資料作成。次回以降の調剤業務がスムーズになるため流れを作成し、長野チームにも持ち帰ってもらうこととした。11時30分に診療所の午前を終了。青森、長野ともに今日でチームが変わるため全員で記念写真撮影仲間意識を再確認。短い間だが、ともに同じ空間で時間を共有した人たちとの別れには感慨深いものがある。

12時より昼食。昼食後十和田中央病院チームが到着。薬剤師へと薬局業務を引き継ぐ。長野チームの引き継ぎは盛岡の宿泊先で行われるため小林薬剤師へ資料を渡す。

13時30分、荷物を片づけ青森チーム、長野チーム、私たち支援隊は帰ることになる。

今回の支援では、現地の実情の一部に触れてきたつもりです。被災地に入らないとわからない状況、単純に医療の支援だけでは対応できない現実。日々変わる状況の中で、少しでも被災者の皆さんのためになっていればと考えてきました。また、私たちが伝えることによりこれからの支援がより充実したものになるように祈っています。

氏名;工藤源造(総務)

体調;良好

行動日誌

6:00 起床

7:00 ミーティング

8:45 診療所ミーティング

9:00 診療開始

9:30 宿泊所後片付け

食料品・備品リスト作り

12:00 昼食

12:30 十和田中央病院と引き継ぎ

13:30 帰路に就く

18:00 本部到着

私は、どの位被災地で役に立てたか医療チームの力になれたか解りません、ただ、自分が出来る事は何かを、毎日、毎日考え最善の行動を取ってきたつもりです

5 日間貴重な体験をさせて頂いた会社と原田薬剤師・西村薬剤師に感謝すると共に被災された方々の1日でも早い復興を心より願っています。